

教育委員会行政報告

市長の行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

始めに、教育委員会では、瀬戸内市の教育大綱の五つの重点施策を柱として、教育行政を推進します。

学校教育においては、学びの基本は授業であるとの認識のもと、学ぶことは楽しい、もっと学びたいと思う子どもたちが増えるよう、授業及びそれを支える教育環境の改善を推進します。特に、学力向上を図るため各学校における授業改善を推進するとともに、教育委員会事務局としても各学校への支援の充実を図っていきます。

また、道徳及び小学校での外国語の教科化、各学校段階の円滑な接続、特別支援教育の充実などに取り組んでいきます。

社会教育に関しては、昨年開館した市民図書館をはじめとした社会教育施設を中心として、生涯学習の機会のさらなる充実を図るとともに、歴史・文化の保存・継承に努めます。特に、地域資源を活用した事業や体験型学習の機会の充実、社会教育施設や関連機関との連携事業、また市民の皆さまとの協働事業などを推進していきます。

以上を申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

○ 学校教育の充実について

学習指導要領の改訂により、「特別の教科 道徳」について小学校が平成30年度、中学校が平成31年度、小学校における外国語が平成32

年度にそれぞれ教科化されます。この動向も踏まえ、教育委員会では各学校における教育活動の質の向上を図るために、「道徳の時間の充実」、「外国語教育の充実」及び「教育の情報化の推進」の三つの研究事業の実践校として小学校3校、中学校1校を指定しました。この実践研究は学力向上や生徒指導、特別支援教育の充実等と併せて、子どもたちが必要とされる資質・能力を育むことを狙いとしています。

○ 子供の読書活動優秀実践校について

平成29年度子供の読書活動優秀実践校として、邑久中学校が文部科学大臣表彰を受けました。同校では、生徒が主体となり、ボランティアと連携し、多様な読書活動を実施しています。その活動は校内にとどまらず、保育園や図書館等を会場に、読み聞かせ活動やビブリオバトル等の事業の実施につながっています。

これらの活動により、読書への興味が高まると同時に、人前で話をすることに自信を持てるようになった生徒も増えてきています。

今回の表彰は、読書の楽しさを広く地域の人々に伝える取り組みを行っていることが高く評価されたものです。

今後も、子どもたちの読書活動が推進されるよう支援していきます。

○ 学校施設整備について

邑久中学校大規模改造工事については、昨年度から3年間で実施することとしており、今年度は、北棟の大規模改造工事を実施しています。現在建設中の仮設校舎には8月中に移転した上で、9月からは本格的な工事に着手する予定です。

また、牛窓北小学校の校舎等雨漏改修工事、幼稚園のエアコン整備に伴う実施設計など計画的に実施していきます。

さらに、環境省の補助事業である「公共施設等先進的CO₂排出削減対策モデル事業」を活用した、中学校へのエアコン設置も予定しています。

これらの工事の実施に際しては、各学校や建設業者等との連絡調整を密にし、極力、各学校の教育活動への影響が少ないよう、また、児童生徒の安全には十分留意しながら進めていきます。

○ 図書館について

昨年6月1日に開館した市民図書館もみわ広場は1周年を迎えました。この間の来場者は16万6,086人、1日平均579人となっています。

また、図書館全体での貸出冊数は31万9,928冊、市民1人当たり、8.4冊となりました。

市民図書館では開館1周年を記念して、図書館友の会等の協力も得て6月24日、25日に「もみわ祭」を開催する予定です。このイベントでは、児童文学の翻訳が多数ある法政大学教授の^{かねはらみずひと}金原瑞人氏の講演や、市内のお父さん、おじいさんなどの「読みメン」による読み聞かせなどを実施することとしています。

また、市内企業による雑誌スポンサーも10社を超え、さまざまな方々に図書館活動を支えていただいています。今後は、市民との協働による図書館として、友の会との共催事業を充実させるとともに、子育て関連図書の実、 「認知症にやさしい本棚」の設置など、市民の皆さまの暮らしに寄り添ったサービスを展開していきたいと考えています。

○夢二のふるさと芸術交流プロジェクトについて

今年度新たに創設した「夢二のふるさと芸術交流プロジェクト」を円滑に運営するため、市民との協働による実行委員会を設置し、事業を開始しました。プロジェクトは「夢二コンクール」と、コンクール創設の周知及び市内の地域文化の向上を目的とした「夢二コンクール創設記念プレミアムコンサート」を主な柱としています。夢二コンクールは、楽器部門はフルートによる自由曲の演奏、声楽部門は「竹久夢二」が作詞した曲の課題曲と自由曲の独唱とし、来年1月に本選を開催します。

また、プレミアムコンサートは、去る5月21日に中央公民館において女性ボーカルアンサンブルやフルート二重奏など創設記念祝祭コンサートを開催し、約450人の皆さまに参加いただきました。今後も多くの声楽家、演奏者によりさまざまなコンサートを市内各所で開催するとともに、施設等への訪問コンサートも予定しています。

○ 瀬戸内市立美術館について

美術館では6月10日から7月23日まで、『清宮質文展』^{せいみやなおぶみ}を開催しています。清宮は生誕100年を迎える木版画家で、詩的で清らかな世界は全国に多くのファンをもっています。また生誕110年を迎える中原中也の詩と共に作品を展示する特別コーナーも設けます。

7月28日から9月3日まで、『せとうちオバケ芸術祭』を開催します。91歳の倉敷在住のお化け人形師・中田市男による幽霊人形、若手造形作家・武本大志による等身大サイズの妖怪像などを展示する、夏休みに合わせた親子で楽しめる展示です。

本年度からは、対話型鑑賞法を取り入れた企画を充実させるほか、引き続き、ワークショップやギャラリートークを行い、芸術文化に親しめる環境作りに努力していきます。

○ 備前長船刀剣博物館について

博物館では5月30日から7月30日まで、『初公開！新収蔵刀剣展』を開催しています。昨今増えつつある収蔵品の中から初公開の作品を中心に寄贈、寄託品を展示します。また、同時に初心者向けの日本刀鑑賞方法も紹介していきます。

また、8月4日から8月27日まで、『新作名刀展』を開催します。本年度、日本美術刀剣保存協会主催の新作名刀展で入賞、入選した作品を展示します。現代の刀匠による作刀、刀身彫、彫金の優れた作品をご覧ください。機会となります。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成29年6月20日

瀬戸内市教育委員会

教育長 柴崎 伸次